

〈NGO・外務省定期協議会 議題案／質問状記入シート〉

1. **議題案名**：SDGs国内実施について
2. **議題の背景**：5月20日、総理を本部長とするSDGs推進本部が設立され、今後「SDGs実施指針」が策定されることになっています。
3. **議題に関わる問題点（議題に上げたい理由）**：SDGs策定にあたっては、国内外において広く市民社会が非常に大きな関心を持ち、政府内や国連における議論対して提言を行うなど、策定過程に関わってきました。今後はいかにして「誰一人取り残さない」ためのSDGs実施を進めることができるのかが焦点となっています。SDGsは包括的にすべての分野を含みますが、国内におけるSDGs目標達成と並び、途上国におけるSDGs達成に向けて日本のODAが果たしうる役割、果たすべき役割は非常に大きいと考えます。
4. **外務省への事前質問（論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係など）**：
 - ✓ 実施指針策定のプロセスが進んでいると思われますが、各省庁の反応・取組進捗状況等も含め、現状をご共有いただけますでしょうか。
 - ✓ その上で、市民社会として策定プロセスにどのように関わることができるのかをご教示いただければと思います。
 - ✓ ODA 政策が SDGs 達成に向け、2030 アジェンダのタイトルにもあるように、いかに「変革」されうるのか、ODA 政策への SDGs の取り込みについて、貴省の方針・取組をできる限り具体的にお示しください。SDGs 時代の ODA 政策は、これまで以上に、最脆弱層・最周縁層の人間の安全保障を確保し「誰一人取り残さない」ことが求められています。今後いかにして最も取り残されている層を特定・優先化し、その層を排除する原因となっている障壁を明らかにした上で援助が実施されるのか、市民社会としても非常に注目しております。
 - ✓ SDGs 実施にあたっては、そのための予算措置が重要となります。実施指針策定前のタイミングではございますが、政府として実施のための予算確保についての見通し等をお聞かせください。
5. **議題に関わる論点（定期協議会の場で主張したいことや、外務省に確認しておきたいと現段階で考える点）**：

※外務省からの事前質問の回答によって変更することは可能です。

- 氏名：大野容子
- 役職：アドボカシースペシャリスト
- 所属団体：（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／動く→動かす／SDGs市民社会ネットワーク
- 連絡先：ono.yoko@savechildren.or.jp